

日本赤十字豊田看護大学 学部生・保護者の皆様へ

2020年は新型コロナウイルス感染に始まり、第3波の感染拡大で終わる1年となる様相を示しています。東京を中心とした関東地域では、感染者数の増加によって医療はひっ迫し、従来から求められる医療に影響が出始めています。ようやく、国は人の動きを抑止する方向に舵を切りましたので、この成果が2週間後に現れると思われれます。この間に、国民1人ひとりが感染予防行動を徹底することが重要です。

大学では、感染予防対策を徹底して実行し、環境を整備すると共に、感染拡大状況を判断しては、教育等に関する方針を決めてきました。特に、臨地実習について期間を短縮して、学内実習によって代替し、看護師国家試験の受験資格に影響しないように調整しています。学部生の皆様は看護学を学ぶ学生として、感染制御に関する知識を十分に身につけて、感染予防行動を徹底的に実行してください。さらに、それらを周囲の人々に伝えて下さいますようお願いいたします。

皆様におかれましては、今後のこともご心配されていることと拝察いたします。本学は、教育の実施方法について、最善の方法を判断して、進めて参ります。これまでに報告された他大学の学生の感染状況を確認すると、クラブ活動、大学外での飲食の機会における感染が多いようです。学部生の皆様、学外において感染予防行動を徹底してください。そして、感染を学内に持ち込まぬよう、以下について、ご確認ください、ご協力くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスについても知見が蓄積されてきました。むやみに恐れるのではなく、看護学生として知見に裏付けされた感染予防行動を徹底し、この感染拡大の危機を共に乗り越えていきましょう。2021年に、健康で活力のある皆様とお会いできることを楽しみにしています。

1. マスクを外しての飲食の場が感染の機会として最も危険です。アルコールを伴う食事会への参加を控えてください。さらに、飲食の場でのアルバイトは自粛してくださいますようお願いいたします。これによって、飛沫感染、マイクロ飛沫感染を予防します。
2. 公共交通機関を利用するとき、共用部（つり革、エスカレーターのベルト、ドアノブなど）に触れた手で、眼、鼻、口の粘膜に触れてはいけません。必ず、テノケアで消毒するか、標準的な手洗いを実行してください。この行動で、接触感染を予防します。
3. たとえマスクを装着していても、スクールバス内での大声の会話はマイクロ飛沫となる可能性があります。スクールバスでは、会話を必要最小限に控えてくださいますようお願いいたします。これによって、マイクロ飛沫感染を予防します。
4. 1名でも感染者ができれば、学内実習など教育に影響いたします。医療者を目指す学生として、感染予防行動を徹底して実施してください。